

愛知県環境影響評価審査会武豊火力発電所部会 会議録

- 1 日時 平成28年2月22日（月）午前10時から午前11時まで
- 2 場所 自治センター 4階 大会議室
- 3 議事
 - (1) 中部電力(株)武豊火力発電所リプレース計画に係る環境影響評価方法書について
 - (2) その他
- 4 出席者
委員6名、説明のために出席した職員15名、事業者10名
- 5 傍聴人
3名
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 議事
ア 中部電力(株)武豊火力発電所リプレース計画に係る環境影響評価方法書について
 - ・ 議事録の署名について、山澤部会長が田代委員と谷脇委員を指名した。
 - ・ 資料1及び資料2について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

- 【井上委員】資料1の指摘事項7について、係留系を設置する流況調査においては、水温・塩分も測定すると理解してよいか。
- 【事務局】そのとおり。
- 【宮崎委員】資料1の指摘事項8について、海苔の養殖場所の水温について四季で調査するのはよいと思う。網に胞子を付け、海に入れて芽を出させる種付けの時期の水温次第では、海苔の養殖に大きな影響を及ぼすことがある。やや成長すれば、水温の影響はそこまで大きく受けない。漁協と密に連携をとり、一番大事な時期に配慮していただきたい。
- 【山澤部会長】石炭灰等は、サイロ等の密閉構造の施設で保管するとのことだが、石炭灰は所内にどの程度の量が常時存在することになるのか。また、それを保管する施設の規模を準備書で示していただきたい。
- 【事業者】保管施設の諸元や配置計画については準備書に記載する。
- 【山澤部会長】石炭灰等の保管について、発生量と有効利用量の収支等によっては、屋外保管されることはないか。
- 【事業者】屋外に保管することはない。保管施設は、発生量や有効利用量等を踏ま

えて設計する。

【山澤部会長】亜瀝青炭を燃焼した場合と瀝青炭を燃焼した場合の排ガス濃度に関して、排ガスを処理する前のガスの性状や成分が、処理した後の排ガスの濃度に影響することになるのか。

【事業者】亜瀝青炭と瀝青炭の違いというよりも、石炭の産地の違いの方が影響する。亜瀝青炭と瀝青炭は、炭化度の違いで分類しているだけであって、明確にその境目があるわけではないので、極端な性質の違いはない。むしろ産地によって含有する硫黄分等が異なっている。なお、一番厳しい条件を想定して設備設計は行う。

【山澤部会長】排ガス濃度は、排ガス処理施設の処理効率により決まるのか。それとも排ガスの出口濃度を固めてから仕様を決めるのか。

【事業者】両方を勘案することにはなるが、基本的には方法書に記載した排ガス濃度を守ることができる施設を計画する。

【大石委員】事故に関しての安全運用を検討する機会はあるのか。

【事務局】事故については、関係法令等に基づき事業者が別に検討することになる。本審査会では、環境保全の観点からの審査が対象となる。

【井上委員】部会報告案の1(2)の「水銀を始めとする微量物質」との表現について、「始めとする」との部分で、水銀が微量物質の代表であるかのような感じを受ける。水銀が重要であることは理解しているが、違和感があるので表現を修正した方がよい。

【事務局】ご意見を踏まえ、「水銀等の微量物質」に修正させていただきたい。

【井上委員】愛知県では二酸化炭素の削減目標はないのか。目標があれば、部会報告案の7(2)において、県の削減目標との整合性についても指摘した方がよいのではないか。

【事務局】国は、国の削減目標の実行に向けて今春までに地球温暖化対策計画を策定すると聞いている。本県としては国の地球温暖化対策計画の内容を踏まえ、県の温暖化対策実行計画を検討していきたいと考えているので、現時点では国の2030年までの削減目標を踏まえた県の目標は定まっていない。

【井上委員】県の目標は準備書までに決まらないのか。

【事務局】現在、県の計画の見直しに向けた調査について、来年度予算の要求をしているところである。その調査結果を踏まえ、県の計画や目標を検討することになる。事業者が準備書を作成する時期と、本県の目標の設定の時期は現時点では不明である。

【山澤部会長】部会報告案の8で指摘している図書の公表に関する利便性の向上について、インターネットで公開された図書の使いやすさを求めていることがもう少し分かるような文言を入れた方がよいと思う。公表されている図書が印刷出来ないとか、それはそれで理由があるのは説明いただいているが、住民等がより使いやすい方向性を示せるとよい。

【事務局】ご意見を踏まえ、「インターネット等による準備書の公表に当たっては、」に修正させていただきたい。

【大石委員】公表はインターネットだけではなく、「インターネットを含む」の

方がよいと思うがどうか。

【事務局】それでは、ご意見を踏まえ、「インターネットを含む準備書の公表に当たっては、」に修正させていただきたい。

【山澤部会長】他に修正等すべき点はあるか。意見がなければ、最後に事務局から修正箇所について再度説明されたい。

【事務局】部会報告案の1(2)について、「石炭に含まれる水銀等の微量物質の排出抑制に向け、最善の対策技術の導入等を検討するとともに、適切に調査、予測及び評価を行うこと。」に修正する。

また、部会報告案の8の後段について、「また、インターネットを含む準備書の公表に当たっては、住民等の理解促進及び利便性の向上に努めること。」に修正する。

【山澤部会長】ただいま事務局から説明のあったとおり修正したものをもって、部会報告としてよろしいか。

(委員から意見等はなし)

【山澤部会長】最後に部会報告の内容にも関係するが、二酸化炭素について、最近電力業界のほうで進展があったようだが、その内容について簡単に説明されたい。

【事務局】電気事業連合会加盟会社、電源開発株式会社、日本原子力発電株式会社及び新電力の有志計36社が、昨年7月に策定した「電気事業における低炭素社会実行計画」で掲げた目標の達成に向けた取り組みを着実に推進するため、今月8日に「電気事業低炭素社会協議会」を設立した。

協議会では、目標達成に向けた取り組みが実効性あるものとなるよう、会員事業者がそれぞれの事業形態に応じて策定・実施する取り組みを促進・支援するとしている。また、会員事業者の取り組み状況を適切に確認・評価し、協議会全体でPDCAサイクルを推進することにより、目標の達成に向けた取り組みの実効性を高めるとしている。

【山澤部会長】業界においても着実に進展しているとのことなので、これが実行性を持ってよい方向に進んでいくことを期待したい。

- ・ 資料2について、事務局から説明のあった箇所の修正を行った上で部会報告とすることです承された。

イ その他

- ・ 特になし。

(3) 閉会